

すくのび



令和4年12月2日
牧中学校 ほけんだより
No. 12

2・3年生 薬物乱用防止教室を実施しました

11月22日（火）に学校薬剤師の上野憲夫先生をお招きし、2・3年生を対象とした「薬物乱用防止教室」を実施しました。

薬物乱用とは、「医薬品を病気などの治療目的以外に使うこと」「医薬品でない薬物をいたずらに使うこと」です。薬物乱用による影響を知るために、まずは「薬物とは何か」を確認しました。「お酒（アルコール）」や「タバコ（ニコチン）」も依存性がある薬物の一種であることに、驚いている生徒が数名いました。その後、未成年者が飲酒や喫煙を法律で禁止されている理由、そして、大麻や覚せい剤の恐ろしさなど、具体的な事例やインパクトのある画像を交えながら分かりやすく説明していただきました。

今回の学びから感じたことを忘れずに、将来の自分を守るために、今の自分にできることを考え、行動してほしいです。



【将来の自分を守るために大切なこと】

- ・自分を大切にする。
- ・自分に自信を持って、断れる勇気を持つ。
- ・お家の人と話をする。
- ・相談できる身近な人を持つ。



【麻薬よりも怖い21世紀の問題】



薬物以外の「依存性があり、心身に影響があるもの（下記の3つ）」の紹介もありました！

- ・スマホ … 歩きスマホによる事故の恐れ
- ・ゲーム … 視力低下・生活習慣の乱れの恐れ
- ・ヘッドホン … 難聴の恐れ



生徒の感想より

- 家ではタバコが身近にあるので、家族と一緒に対策していきたいと思いました。
- 身の回りに依存してしまうものがたくさんあって、怖いと思いました。
- 薬物を目の前にしたとき、今回学んだことを思い出して、冷静になろうと思います。

